

令和7年度 グループホーム ハウス BEE 地域連携推進会議 開催報告

社会福祉法人 横浜やまびこの里では、地域住民・ご家族・利用者代表の皆さまに対し、北部方面のグループホームの運営状況を共有し、地域との連携強化を図ることを目的として「地域連携推進会議」を開催いたしました。

■ 開催概要

日時：令和8年3月24日（火）14:30～16:00

場所：ハウス EEL（都筑区東山田町）

参加者：地域関係者、利用者ご家族、利用者代表、法人職員

■ 会議で報告した主な事項

● グループホームの概要紹介

北部エリアでは12か所のグループホームを運営し、約60の方が入居されています。知的障害や自閉症のある方が多く、地域の住宅地において日常生活を営んでいます。

● 支援体制および夜間の見守りについて

正職員・パート支援員・居宅介護ヘルパーが連携し、夜間を含めた生活支援体制を確保しています。

加齢による対応が増えている現状を踏まえ、少しずつ訪問看護や訪問診療とも連携し、健康面の変化にも対応しています。

● 生活の様子を紹介

起床から通所、帰宅後の時間に至るまで、利用者の方が安心して過ごせるよう、視覚的支援の活用や個々のペースに応じた関わりを重視しています。

会議では、他ホームの日常の様子を撮影した動画も紹介しました。

● 事故防止・虐待防止の取り組みについて

チェックリストの活用や業務整理を進め、事故・ヒヤリハットの未然防止に努めています。法人全体の委員会において事例共有を行い、支援の質向上に繋がるよう取り組んでいます。

● 感染症対策・災害対策について

感染症対策マニュアルの整備、災害備蓄品の点検を実施しています。

地域の防災拠点や避難場所に関する情報共有・意見交換も行いました。

● 地域特性や今後の整備などの情報

東山田地区は市街化調整区域が多く、建築に関する制限がある地域です。

その中で地域の理解を得ながら運営を継続しており、今後予定されている移転計画についても報告しました。

■ 委員からの主な意見

- ・ 地域防災拠点の課題および他施設との連携の必要性
- ・ 新規ホーム開設が困難な状況下での定員調整や柔軟な運営への期待
- ・ 自閉症支援における地域理解促進の重要性
- ・ 2ユニット型ホームの有効性に関する肯定的な意見

■ 次年度の予定

次年度は、2ユニット型グループホームの現地見学を中心とした開催を予定しています。

委員の皆さまには、引き続きご協力を賜ることとなりました。

地域の皆さまのご理解とご支援をいただきながら、利用者の方々が安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

